



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第6号

令和4年6月23日

5年総合「福祉体験学習」



5年生は、今年度「総合的な学習の時間」のテーマに福祉教育を掲げています。6月10日（金）、福祉体験学習に取り組みました。射水市社会協議会から稲田先生と高井先生2名をお招きし、「障害者」「高齢者」を対象とした①車いす体験、②疑似体験を行いました。射水市教育委員会では、学校教育活動にSDGs（持続可能な開発目標）を取り入れることを推奨しています。この活動は「目標3のすべての人に健康と福祉を」に該当します。

車いす体験では、コーンとコーンの間を通り抜けたり（写真1）、児童玄関前のスロープを移動したりしました（写真2）。実際に行ってみると思うように進まず悪戦苦闘しました。子供たちからは「車いすでバックするときに後ろが見えないから危ない」「ちょっとした段差でも障害のある人には難しい」などという声が聞こえてきました。疑似体験では、身体に重りを付けたり、視野が狭まるゴーグルをかけたり、耳栓をして聞こえづらくしたりして、高齢者の感覚を感じる体験をしました。杖を突いて階段を昇り降りして、そのたいへんさを味わいました（写真3）。「よく見えないし、聞こえなくて転びそうになった」「重いし、辛いし、たいへん」と子供たちは口々に感想を話していました。体験を通して、自分たちと高齢者の違いがよく分かりました。

最後に福祉協議会の方が「高齢者の方々にやさしい声をかけてください」と話されると、子供たちは大きな声で返事をし、福祉体験学習を終えました。日本はこれから高齢化社会がますます進んでいきます。福祉教育をとおして、心優しい子供たちを育てていきたいものです。

（この活動の様子は、6月11日付の北日本新聞で紹介されました）



写真1 スラローム



写真2 スロープ



写真3 階段

先生たちの研修・要請訪問！！

本校は、昨年度より富山県小学校教育研究会保健研究推進校の指定を受け、保健教育の研究を推進しています。6月14日（火）には、今年度最初の要請訪問研修会を行いました。当日は、富山県西部教育事務所より、指導主事の2名の先生が来校され、授業を参観していただきました。

3年2組三谷級は「けんこうな体」の学習で、「毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和がとれた生活を続けることが必要であると理解できる」をねらいとして授業を行いました。4年2組山崎級は「体の成長とわたし」の学習で、「体の発育・発達に関わる課題を見付け、よりよい解決に向けて考え表現する活動を通して、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であることを理解できるようにする」をねらいとして授業を行いました。

指導講話では、主体的、対話的で深い学びが実現できていたことや、教師の健康観が大切であること、学んだ知識を実践に結び付けていく方法や子供の考えを深める切り返しの手法等を教えていただきました。早速明日からの授業に生かし、健康な体と心を兼ね備えた子供の育成に努めたいと思います。



3年2組 三谷級

4年2組 山崎級

東明っ子 各種大会で活躍！！

子供たちが参加する対外行事が徐々に再開されています。5月29日（日）に射水市民体育大会小学生陸上競技が行われ、女子1000m走で5年生の濱谷桜月さんが2位に入賞しました。6年生の選手もいる中でたいへん素晴らしい成績でした。また、6月11日（日）に行われた相撲の部では、4年生の竹村剣志郎くんが4年軽量級で1位になりました。

2人の素晴らしい努力の結果です。そして、7月3日（日）には、県の自転車大会に本校から6年生4名が参加します。



東明っ子のさらなる活躍を期待したいです。

(校長 阿尾昌樹)